

富良野市防災会議結果報告(概要)

■会長挨拶

北市長が防災会議の会長として挨拶。

■審議事項

- 富良野市地域防災計画の修正について
事務局から修正(案)に関して、説明を行う。

【質疑等】

- 荒木委員(商工会議所会頭)
 - ①資料2のP7「業務継続計画(BCP)の策定」について、既に作成中であるのに策定に努めるという表現はおかしい。
 - ②洪水想定が1000年に1度の想定に変更となっているが、資料3の8-1~8-5記載の備蓄品は、変更後の想定に対応していなのではないかと懸念している。1000年に一度に対応した備蓄量に修正し、準備する必要があると思う。また、地震については、被害想定が記載されているが、水害については記載がない。水害についても、被害想定を記述し、その上で、それに対応できる備蓄品を載せるべき。例えば、毛布について、今年のブラックアウトの時、避難所を開けたけれども、布団は自分たちで用意してくださいという話だった。これについてはきちんと対処すべき。冬だったらどうするという話になる。避難所の暖房器具についても、現状3台しかない。1000年に1度に変えて、まったくそれに対応できないとしたら計画自体が狂うのではないかと懸念している。
 - ③上川管内の全市町村での災害時の派遣協定について、費用は派遣先が負担する形で全市町村で締結できるように取り組んでいただきたい。

【回答】

- ①「策定を行うものとする」という表現に改めます。
- ②市の備蓄状況については現状不十分であると認識しています。今後、充実をしていきたいと考えていますが、一度に市で全てを準備するのは難しいと考えています。現在、様々な関係機関と協定を締結しているので、協力いただける部分については、最大限活用してまいりたいと考えています。
- ③今後反映できる場があれば、反映していきたい。

【質 疑】

○高野委員（富良野市民生委員・児童委員協議会委員）

- ①停電時におけるマニュアルを作成してはいかがか
- ②避難所の開設・運営訓練を1泊した形で行ってはいかがか。

【回 答】

ご意見として承ります。

【質 疑】

○和田委員（富良野地区森林組合代表理事組合長）

災害履歴の十勝岳噴火について、昭和37年と63年の記載がない。これは、富良野市に直接被害がなかったから載せていないのか。30年に1回程度噴火しているのを記載していれば、また、同じ周期で噴火が起こるという事がわかりやすく、加えておいた方が良いと思う。

【回 答】

富良野市に直接被害がなかったため、掲載していませんでしたが、ご提案のありました通り修正いたします。

【質 疑】

○早崎委員（陸上自衛隊上富良野駐屯地第104特科大隊長）

資料2のP9で「災害対策本部が災害情報を一元的に把握し、共有することができる体制の整備を図る」と書かれているので、地域住民に安心・安全を伝えていくという観点からも、災害対策本部には正確な情報収集、整理に関することを強化して欲しい。自衛隊としても過去の経験を踏まえながら、提案させていただきたいと思いますのでこの部分について、ぜひともお願いしたい。

【回 答】

災害対策本部の機能強化の部分について、充実してまいりたいと思います。ご指摘のありました、情報収集と市民への情報発信について、どういう形が可能なのか、また望ましいのか検討してまいりたいと思います。

※その他、質疑等はなく、審議事項の富良野市地域防災計画の修正について承認された。

4. その他

- ・避難勧告等の判断・伝達マニュアル全面改訂について説明（別紙1、2）
- ・時期防災会議委員の委嘱について説明
- ・その他、事務局から、今年度の市の防災事業の主な取り組みについて説明。

（別紙）

※質疑等なし